

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年6月24日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104548
法人名	医療法人 敬天会
事業所名	グループホーム いしき
所在地	鹿児島県鹿児島市伊敷台四丁目34番50号 (電話) 099-229-1010
自己評価作成日	平成26年5月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年6月18日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「生きる喜びは食にあり」このことで1品増やし食べ物をおいしく食べていただくよう献立等を工夫している。  
 「その人らしい生き方」を頭に入れ最終看取り迄も念頭に入れて考えているが、御家族、主治医との話し合いで決定していく。  
 共用型デイサービスとの混合で、入居者の方との語らいもあり、和やかな雰囲気です1日過ぎていっている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、母体法人の有料老人ホームと隣接しており、夏祭りの合同開催や緊急時の協力体制が築かれている。
- ・理念は、事業所の目指す基本的な姿勢を管理者中心に職員で話し合い作成している。パンフレットに記載し壁に掲げ、常に理念に立ち返りながら支援している。
- ・共用空間は広く、快適な湿度・温度の管理がなされ、安心してゆっくりくつろげるスペースである。
- ・小学校が近くにあり、児童生徒と触れ合う機会を作り交流している。知人の面会や見学等、気軽に訪問者がある。
- ・ホームの入り口に設置されている掲示板を利用して、地域住民へホームの行事等の情報発信を行ったり、地域密着をめざし開かれたホームとして取り組んでいる。
- ・災害訓練は消防署の指導のもと、助言やアドバイスを得て、自主訓練に活かしている。災害時の備蓄や自動災害通報装置・消火器・災害対策用具などを準備している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼後に皆で理念の唱和をし、理念の意識付けを行っている、又、具体的に季節毎の行事等を行い実践している。	管理者と職員で作成した事業所の理念を事務室や壁に掲示し、朝礼時に唱和し、日々のケアの基本としている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	二ヶ月に一回運営推進委員会には地域の民生員さんが参加されている。年一回の夏祭りは地域の方に参加を呼びかけ（割引券を配布）ている。地域の小学校との交流もある。	地域住民が施設見学に来所されたり、ホームの夏祭りに招待している。小学校との交流やボランティアの受け入れ等を行い、民生委員を交え地域とのつながりについて、話し合い学校関係や地域住民との交流を強化して、地域密着をめざしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	高校生実習の受け入れやボランティアの行事参加等で認知症の方の理解を深めてもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二月毎に開催しており、地域包括、民生員、御家族、事業所を交えて意見交換を実施している、利用者様の介護度、又、施設の空所状況を伝えている。	会議は定期的に行われ、ホームの状況や行事・ヒヤリハットや外部評価などの報告を行い、参加者からの意見を伺い情報交換をして運営に活かしている。家族も交代で参加している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域包括センターには月一回ホーム内の状況を伝える。いしき通信で状況を伝えている。</p>	<p>市担当者へは介護保険の更新や区分変更などの書類等を持参した折に相談したり、電話で気軽に話をしている。いしき通信を毎月送付したり、市の介護相談員や研修生を受け入れている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設けて、月一回の全体会議の中で拘束について発表し意見交換を行っている。院内研修の中でも身体拘束を取り上げ勉強している。</p>	<p>「身体拘束はしない」を意識して、ことばの拘束を含めた職場研修を実施し、身体拘束についての理解を深めている。トイレ誘導時など、優しく、周りに気付かれないようにさりげないケアに心がけている。日中、玄関の施錠はせずに、出入りは自由にして職員で見守りをしている。身体拘束廃止委員会を中心に、センサーマットやライト、和室の利用を検討する等、拘束をしない支援を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>院内研修の中で虐待防止について学んでいる。管理者より日頃から虐待についての考えを職員に話している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度について勉強会をした事はあるが、それが必要なケースでは管理者が一人で対応するため、他の職員は理解が乏しい。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関しては時間をとって丁寧に説明している、利用料金や起こり得るリスク、重度化や看取りについての対応方針、医療連携体制の実際については詳しく説明し、同意を得るようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族には月一回いしき通信にて施設の情報をお知らせし、何でも言ってもらえるような雰囲気作りに留意している。又、運営推進会議にも御家族の参加をいただき、率直な意見を出してもらおうように心掛けている。	利用者からは、なんでも話せる状況を作るように心がけ、思いを聞いている。家族からは、面会時に職員から話しかけ、日常のできごとや医療面・身体的な面などを報告し、家族の考えや意見を聞き、記録し職員で共有している。毎月、発行されている「いしき通信」においても、要望等を出してもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月一回の全体会議、毎週金曜日の運営推進委員会等で理事長を交えて、起こっている問題を取り上げている。</p>	<p>理事長を含めた運営推進委員会を毎週実施し、毎月の全体会議と併せて職員の意見等を聞く機会を設けている。管理者は職員とコミュニケーションを持ち、業務や個人的な相談などを話し合っている。職員旅行やバーベキュー等の食事会等をするなかで、職員の提案や意見をくみとっている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>正社員への転換、夜勤手当、時給等見直しを行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>社会福祉協議会の主催する研修会を受講してもらったり、院内研修で学習会を開いてやっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>実施研修会で知り得た管理者の方との交流を持ったり、二～三ヶ月一回、近況を話し合う場を設けている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用について相談があった時は、必ず本人に会って心身の状態や本人の思いに向き合い、職員が本人に受け入れられるような関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が求めているものを理解し、事業所として何が出来るかを検討し、どのような対応が出来るか話し合いをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人や家族の思い、状況等を把握し、改善に向けた支援の提案をし、その時に必要なサービスにつなげるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個人の立場に立ったケアを心がけ、出来るところは見守りし、お互いが協働しながら、和やかな生活が出来るように場面作りや声かけをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	職員は家族の思いを理解しながら、日々の暮らしの出来事や気付きの情報の共有に努め、本人を支えていくために、ご家族と同じような思いで支援していることを伝えている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	ご家族の面会等連絡をしている。	利用者のこれまでの関係をアセスメントや日常の会話の中から把握し、関係が継続できるように支援に努めている。家族や親戚・知人・友人などの面会があり、家族にも報告している。家族と墓参りや親戚に逢いに行ったり、馴染みの理・美容室に行っている。本人の希望で妹の見舞い等をホームで対応している。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	利用者の方は食堂で寛ぎ、お茶等を飲みながら語らいがある、カルタ取り等をし仲良く過ごせるよう工夫している。		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	年賀状等送付し状況説明をしたりしている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族の面会が毎月あり、ご家族の意見等を聞き取りプランの中に反映させている。	日常のケアの中から本人の意向を把握するように努め、個人記録簿に、その都度記録し、職員で共有している。入浴中に思いや希望等を話されることが多い。意思疎通が困難な利用者は家族からの話しや本人のしぐさや言葉かけの反応等から、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	どのような生活環境で生きてこられたか、本人に何気なく聞き、その人らしい生き方の延長を考慮している。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	メリハリのある一日、「横になりたい」と言われる利用者様がおられればレクレーション中でもベッドに横になっていただいたり、本人の過ごしたいようにと支援を行っている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>朝の申し送り、夜の過ごし方等聞き取り、プランの内容をモニタリングしている。新しいプランはスタッフに聞き取りし、ご家族と話し合い了解を得ている。</p>	<p>利用者や家族から聞き取りを行い、サービス担当者会議を実施し、本人の希望や職員の意見を基に介護計画を作成している。毎月のカンファレンスで職員の意見を聞き、半年ごとにモニタリングを実施し、介護計画を見直している。状況の変化があれば家族へ相談し、プランの見直しをしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日、個人記録、カードックスに記入し、職員間で情報共有している。半年に一回モニタリングで介護計画の見直しをする際に活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>二ヶ月に一回くらいの頻度で訪問散髪、週一回の脳活性リハビリに参加し、緊急時の受診等実施している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行事等の時、社会福祉協議会のボランティアによる催し物等に来ていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時よりのかかりつけ医は大事にしているが、重症化に伴い歩行が出来なくなると在宅医へのバトンタッチとなるよう支援、ご家族の了解を得ている。	契約時に今までのかかりつけ医を聞き希望通りにしている。協力医や在宅医等を含めた適切な医療が受けられるよう支援している。協力医も月に1回の往診をしている。急変時などは医療連会体制が整っている。	
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師を配置しており、利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院されたら情報提供書を送付し、お見舞いや退院等MSWより連絡を受けている、又紹介された病院へは主治医を変えることなく出来るだけ受診していけるように協力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期におけるグループホームで行えるケア、当ホームでの看取りに対する考え方をご家族に説明し、希望があれば主治医を含め話し合いの場を設けている。</p>	<p>終末期に関しての事業所の方針を施設契約の時に主治医や家族・関係者と話し合っている。24時間の訪問看護の体制も整えている。施設での看取り希望が多く、家族等の思いを尊重して段階的に話し合っている。職員も共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年間計画表を作成、四月はAEDの勉強会を設けた。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回防災訓練実施をしている。</p>	<p>消防署の協力で年2回、防火訓練を実施している。緊急通報装置や災害用の水などの備蓄やスプリンクラーが設置されている。隣接の有料老人ホームとの協力体制も築かれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	「自分にこうして欲しい」という希望がある方にはそのようにしていただくようにしている。	一人ひとりの考えや希望を大切に、その人らしいケアに取り組んでいる。トイレなどの誘導の際に周りに気付かれないようにしている。馴れ合いにならないように職員間で注意し合ってケアに取り組んでいる。個人記録等は適切に保管されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	「子供に逢いたい」「電話して下さい」等の思い等は伝えている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、一人一人のペースを大切に、体調に配慮しながら、その日のその時の本人の気持ちを尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服を着替える際に、本人に服を選んでいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日は本人の食べたいものを聞く。献立を一品増やした。正月にお重箱を使用。遠足に手作り弁当を食べていただいている。	食事を楽しく食べることができるようバランスよく栄養士に献立をたててもらったり、行事食や重箱などを使用して季節感を出したりしている。自家菜園の収穫をしたり、梅やらっきょうなどの保存食を作ったりしている。誕生日に好みの物を準備する等、食事を楽しむ工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の摂取量を記録し、把握に努めている。日頃より摂取量が少ない方には高カロリーのジュースを食事以外で摂取していただいている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で行える方には声かけにて、見守りや誘導が必要な方には見守り誘導を、出来ない方には全介助にて毎食後のケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意を訴えられない方でも排泄記録や本人の様子から定時のトイレ誘導の時間以外にも誘導し、トイレで排泄できるよう支援を行っている。	排泄パターンを把握し、個別にオムツ減らしの工夫も行い、排泄の失敗がないように、しぐさなど観察して、声かけをしながらさりげなく誘導している。トイレへの誘導で排泄の自立支援に向けたケアをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一日のトータル水分量チェック、昼間腸の運動を促す運動、野菜や海藻等を摂取していただくよう工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	浴槽内に入れるように支援したいが、出来ない方には大きなタライ等を準備し入ってもらった。	入浴は週3回が基本であるが、希望があればその都度対応している。職員の介助を受け、ゆっくり会話しながら楽しんでいる。浴室及び脱衣室にエアコンが設置されており、快適な温度管理等がなされている。入浴をいやがる利用者には、無理強いせず時間をおいたり、翌日に声かけをしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の体調や表情、希望等を考慮し、ゆっくり休息が取れるように支援している。乾燥する季節には加湿器や濡れタオルを使用し湿度を保つようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬説明書をファイルに閉じ、職員が内容を把握できるようにしている。変更があった場合には申し送りノートにて示している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意分野で力を発揮してもらえよう、お願いできそうな仕事を頼み、感謝の気持ちを伝えるようにしている。「〇〇が食べたい」と言われる方にはご家族に許可をもらい買って来てもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	徘徊があったりフロアの見守りの中で一人ずつ気分転換に庭やベランダに出ていただくとう時間を作っている、又、仏様を拝みたいと言われる方には、ご家族にお願いをしている。	日常的には、近隣の散歩や庭での散策・ベランダでの外気浴を行っている。2人～3人程度に分かれて希望の所へドライブもしている。特殊車両で、車椅子の利用者も外出している。弁当を作り、花見や公園などへ出かけたり、家族の協力で盆や正月・彼岸などは、家族のもとに帰ったり、外食や墓参り等にも出かけている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持っていないと落ち着かない方は財布と小額のお金を持ち合わせているが、使う場面は正月のお賽銭のみ</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>母の日は毎年往復はがきを出し子供さんのメッセージを届けてもらうように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアに入居者が作成したカレンダーを飾っている。カレンダーは季節に合った作品になるように工夫している。</p>	<p>共用の空間は広くエアコンや加湿器などで快適に過ごせるように設備が整っている。リビングの壁には、アジサイを取り入れた利用者の作品が飾られ、季節を感じる工夫がされている。ソファでゆっくりと過ごすことができ、キッチンの様子も見渡せるなど家庭的な空間となっている。懐メロや童謡が流れ、安心して移動できるように物の配置も工夫されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>大きなピンクオレンジ色のソファが2脚。又、リクライニングチェアが2脚、皆さん思い思いの所で本を読んだり歌を歌ったりして過ごされている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>寝具やタンス、写真を持ち込まれ、それぞれの利用者の居心地のよさに配慮している。</p>	<p>出窓のある明るい居室で、本人が使い慣れたタンスやテレビ等の家具を配置し、家族の写真や自分で作った作品、自宅でいつも使っていた身の周りの道具などが持ち込まれ、一人ひとり個性のあるその人らしい部屋になっている。タンスに中身の貼り紙がしてある。夜間の安全のため、センサーライトが設置してある居室もある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>	<p>身体が自由に動ける方にはできること、洗濯物たたみ、お盆拭き等やりやすいようにテーブルを置いている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない